

主な内容

特集公共交通	2 ~ 9
お知らせ	10 ~ 13
声・掲示板	14 ~ 15
情報 B O X	16 ~ 19
えな自慢	20



第25回いわむら城址薪能が、8月22日の夜、岩村城藩主邸跡で開催。約450人の観客は、かがり火が照らし出す幽玄な舞台を堪能しました。特に今回、能「鞍馬天狗」に岩邑小学校の児童5人が、平家の子ども役で出演。舞台に子どもたちが登場すると、観客から和やかな拍手が沸き起こりました。



上：朝、通勤や通学の乗客を乗せて大井町地内を走る明知鉄道。毎日、多くの方の移動手段として、市内の南北を行っています。左：バス通学をする武並小学校の児童たち。右：串原振興事務所の前でバスに乗り込む串原小学校の児童たち。

市内には第三セクターの明知鉄道と、28路線のバスが運行しています。多くのバス路線が、明知鉄道の駅と結びついており、明知鉄道の二次交通としての役割を果たすことができます。

時代とともに地域の状況に合わなくななり、現状では利用したいけど利用できない人がいるため、明知鉄道沿線地域公共交通活性化協議会では、現状と課題を分析し、今回の「明知鉄道沿線地域公共交通

暮らしを支える社会基盤として考える
現在、車依存社会が進展していく中で、公共交通に頼らない生活が広がっています。その結果、公共交通の利用者が減少し、鉄道やバスなどの撤退につながっています。しかし、子どもや高齢者など車を利用できない人々は、公共交通がなければ移動が制約され、不便な生活を強いられます。また運転免許を持っている人でも、高齢による全性の問題から、運転を控える人が増えています。生活する中で、すべての人が快適に暮らすためには、無くてはならないのが公共交通です。

暮らしを支える社会基盤として考える
現在、車依存社会が進展していく中で、公共交通に頼らない生活が広がっています。その結果、公共交通の利用者が減少し、鉄道やバスなどの撤退につながっています。しかし、子どもや高齢者など車を利用できない人々は、公共交通がなければ移動が制約され、不便な生活を強いられます。また運転免許を持っている人でも、高齢による全性の問題から、運転を控える人が増えています。生活する中で、すべての人が快適に暮らすためには、無くてはならないのが公共交通です。

地域の足を守り・つくり・育てる





(社)恵那市観光協会
かまだみつる
会長 鎌田満氏

(惠那商工会議所会頭)
(明知鉄道沿線地域公共交通活性化協議会委員)

明知鉄道がある安心感

高齢者や子どもたちなど、交通手段のない方々にとって、公共交通は無くてはならない大切な生活の一部だと思います。その中でも明知鉄道は、恵那の南北を結んでいる市の大切な財産です。私はこの鉄道は絶対必要であり、残していくべきだと思います。

かに鉄道は、赤字経営のとても厳しい状況で、市から大きな経費を補てんされているのが現状だと聞いています。しかし地域に

とつて、そこに鉄道があると
いう安心感は、何物にも替え
難いものです。もしも廃止に
でもなつてしまつたら、市に
も沿線の方にも大きな影響を
与えるでしょう。

鉄 道の利便性の向上は、運賃を安くし運行の本性を感じます。

重要ではないでしょうか。

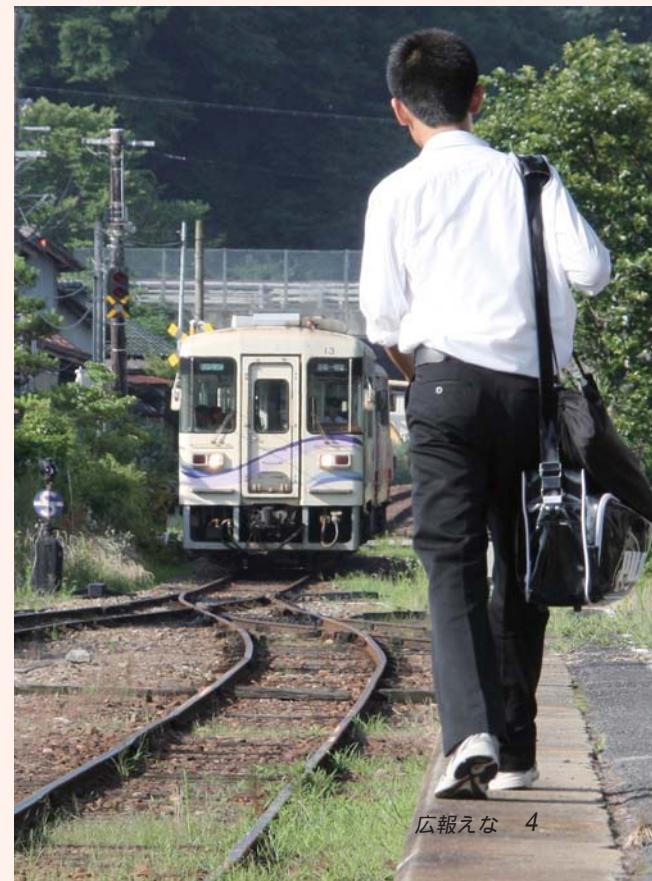
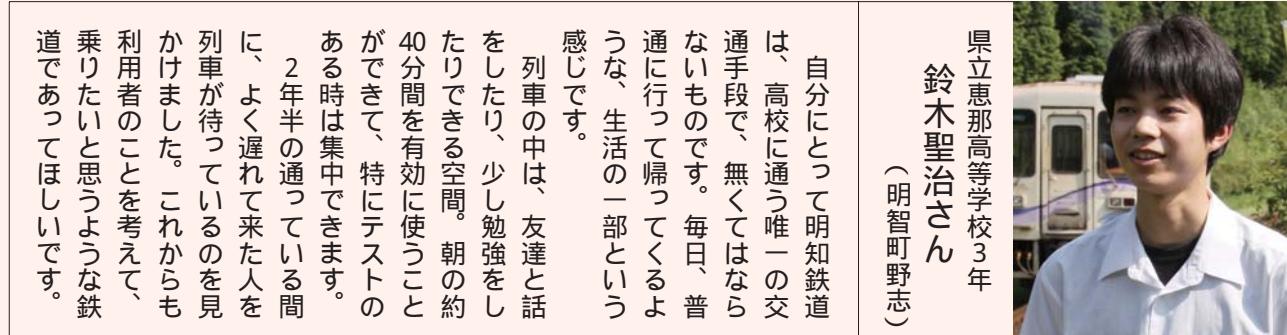
共交通の連携計画に取り組み、10月から一部の路線で明知鉄道とバスの連携が実施されます。乗り換えの所要時間や乗り継ぎの特別運賃など、さらに検討すればもっと使いやすくなるでしょう。今までの市内の公共交通を考えると、今回の取り組みは、1つの方向性として可能是、検討していくだくことでもあります。

ですが、現状では難しいことですが、現状では難しいことがあります。明知鉄道に求めるところは、地域に貢献する鉄道であるという意識を持つていただけ、地域と一緒になつて汗を流してほしい。市民にとって必要とされる鉄道でなければ、この地域にある鉄道の役割は果たせないはずです。

現 在、私が考えている観光的なアプローチとしては、明知鉄道と地域の観光資源をセットにした商品の開発です。例えば、日本大正村の入场料をセットにした「大正百年キップ」。くしはら温泉と往復バス運賃を含んだ「明知鉄道温泉キップ」。最近、営業を再開した花白温泉とのセットも考えられます。

本 年度に実証実験される2年後の大正百年祭。特に觀光協会として力を入れて取り組みたい大正百年祭では、どのように明知鉄道を取り入れていこうかと考えています。これからある絶好の機会を逃さないように、私たちにとって大切な明知鉄道を、盛り上げていきたいと思います。

<p>自分にとって明知鉄道は、高校に通う唯一の交通工具で、無くてはならないものです。毎日、普通に行つて帰つてくるような、生活の一部という感じです。</p> <p>列車の中は、友達と話をしたり、少し勉強をしたりでくる空間。朝の約40分間を有効に使うことができ、特にテストのある時は集中できます。</p> <p>2年半の通つている間に、よく遅れて来た人を列車が待つてゐるのを見かけました。これからも利用者のことを考えて、乗りたいと思うような鉄道であつてほしいです。</p>	<p>県立恵那高等学校3年 鈴木聖治さん (明智町野志)</p>	
--	--	---



守り

地域と地域を結ぶ大切なものの

左：明知鉄道の恵那駅の朝、通勤や通学の乗客でいっぱいになります。右上：明知鉄道の岩村駅で乗り換える上矢作から通学する恵那南高等学校の生徒。右下：岩村駅で列車を待つ高校生。

明知鉄道は「幹」、バスはその「枝」
「なぜ、赤字の鉄道を助けるのか、沿線以外に恩恵はないのに…」と言われている明知鉄道。また、市内を走る1億円を超す赤字の路線バス。そこに、鉄道やバスがある意味とは何でしょうか。

明知鉄道の年間利用者は、延べ46万6千人（昨年度）1日平均1千3百人。市内を南北に結ぶ幹線として、主に朝や夕の通勤、通学の足、日本では高齢者の足として多くの人を運んでいます。鉄道は定時性や安全性に優れた交通サービスを、すべての人に対

して確実に提供できます。
一方、路線バスの年間利用者は、延べ28万7千人（昨年度）。こちらも主に、学生や高齢者の足となっています。
すべての人が、車を運転できるわけではありません。必要としている人がいる以上は、どちらも採算性だけでは評価することができない、価値のある交通機関です。

しかし、明知鉄道と路線バスがそれぞれ単独で運行していくには、使い勝手は良くありません。明知鉄道を「幹」として、その鉄道の駅から路線バスの「枝」をしつかり延ばし、市内を結ぶ公共交通にする必要があります。

D M V (デュアル・モード・ビークルの略) = JR北海道で開発が進められている線路と道路の両方で走行可能な車両のこと。



特集 公共交通



串原地域協議会
生き生きと暮らせる町づくり実行委員
あおしまみつし
大島光利さん

串原のアンケート調査で、地域の要望の1位は買い物でした。移動手段がなく、買い物にも行けない方などの状況把握のため、個人のマイクロバスで一昨年4月から7カ月間、毎週水曜日に買い物バスを運行しました。

地域の公共交通を、考えるきっかけとなった『生き生きワゴン串原号』。9月末まで運行し、その目的を自主運行バスに引き継ぎます。その後について、実行委員会で検討中です。



生き生きワゴン串原号

地域の交通を考えつくる人

中野方地域協議会
会長
かみ お ひろかず
神尾寛和さん



中野方の足として運行している「おきもり」。利用料金は無料。現在はボランティア運転手の登録が33人あり、月に1回程度の協力で運行しています。電話での予約は必要ですが、気軽に利用できる地域の足です。

地域の交通を検討するきっかけは、「病院や金融機関などへ行きたいが、移動手段がないので困っている」という要望からでした。地域協議会で委員会を立ち上げ検討し、「おきもり」という地域内の移送サービスを行ふことになりました。また地域の方言で、お手伝いするという意味の「おきもり」という名前は、とても親しみがあって良かった。

これからは、市街地の巡回バスや基幹バスを確立していただき、「おきもり」は橋渡し役を行いたい。連携のある役割分担が、市と地域の交通を考えるために重要です。



おきもり



左：「生き生きワゴン串原号」に乗車する利用者と、安全の確認をする運転手。この便の利用者5人は、「久しぶり…」と楽しそうに話していました。



右上：「おきもり」に乗車中の利用者。右下：利用者の乗り降りには安全が第一。この日のボランティア運転手は神尾会長で、「遠慮しないで、多くの方に『おきもり』を利用していただきたい」と話していました。

つくり・育てる

安心な生活のため考える

串原では、一昨年度に実施した地域アンケートの結果、地域内交通に対する要望が多くたため、昨年5月に串原地域協議会の串原地域づくり住民会議内に、「生き生きと暮らせる町づくり実行委員会」を立ち上げ検討しました。

地域内で、どのような移送二種があるかを把握するために、昨年の11月から10人乗りのワゴン車「生き生きワゴン串原号」で、試行運転を開始。ボランティアによる運転手で運賃は無料。串原振興事務所を起点に、曜日ごとに運行地域を決め、買い物に目的を絞つて運行しました。

この試行運転により、地域内の二種が把握できました。現在、市が運行している自主運行バスの本数を減ら

して取り上げられたことから、「中野方地域移送事業検討委員会」を立ち上げました。そして移送二種把握のためのアンケート調査を実施。委員会では地域に合った交通を模索するため、3つの部門に分かれて検討をし、地域移動サービスを決定しました。

そして、ボランティアの運転手を募り、本年4月から7人乗りのミニバンで、3カ月の試行運転を開始。7月にはその結果を見て検討し、より二種に合った形を求めるため、再度、8月から2カ月間の試行運行を行っています。

現在、市内の各地域で「地域の足の確保」に対するさまざまな取り組みが始まっています。今回は、地域独自の交通として、串原と中野方町の事例を紹介します。

生き生きワゴン串原号

串原では、一昨年度に実施した地域アンケートの結果、地域内交通に対する要望が多くたため、昨年5月に串原地域協議会の串原地域づくり住民会議内に、「生き生きと暮らせる町づくり実行委員会」を立ち上げ検討しました。

地域内で、どのような移送二種があるかを把握するために、昨年の11月から10人乗りのワゴン車「生き生きワゴン串原号」で、試行運転を開始。ボランティアによる運転手で運賃は無料。串原振興事務所を起点に、曜日ごとに運行地域を決め、買い物に目的を絞つて運行しました。

この試行運転により、地域内の二種が把握できました。現在、市が運行している自主運行バスの本数を減ら

して取り上げられたことから、「中野方地域移送事業検討委員会」を立ち上げました。そして移送二種把握のためのアンケート調査を実施。委員会では地域に合った交通を模索するため、3つの部門に分かれて検討をし、地域移動サービスを決定しました。

そして、ボランティアの運転手を募り、本年4月から7人乗りのミニバンで、3カ月の試行運転を開始。7月にはその結果を見て検討し、より二種に合った形を求めるため、再度、8月から2カ月間の試行運行を行っています。

地域も立ち上がる

現在、市内の各地域で「地域の足の確保」に対するさまざまなものがあります。今回、地域独自の交通として、串原と中野方町の事例を紹介します。

10月からは、市が自主運行バスとして試験運行を開始。さらにアンケートや乗降数の推移を見ながら、市と「生きと暮らせる町づくり実行委員会」で検討を重ね、使いやすい便へと再編します。

おきもり

昨年5月に中野方地域協議会では、地域の足が課題として取り上げられたことから、「中野方地域移送事業検討委員会」を立ち上げました。

そして移送二種把握のためのアンケート調査を実施。委員会では地域に合った交通を模索するため、3つの部門に分かれて検討をし、地域移動サービスを決定しました。

そして、ボランティアの運転手を募り、本年4月から7人乗りのミニバンで、3カ月の試行運転を開始。7月にはその結果を見て検討し、より二種に合った形を求めるため、再度、8月から2カ月間の試行運行を行っています。

し、代わりに「生き生きワゴン串原号」を自主運行バスの中に組み込むことになります。た。

10月からは、市が自主運行バスとして試験運行を開始。さらにアンケートや乗降数の推移を見ながら、市と「生きと暮らせる町づくり実行委員会」で検討を重ね、使いやすい便へと再編します。



特集 公共交通

つべつ・育てる

大切な「足」を地域で意識する

地域の中で話し合つこと
が重要

公共交通の充実とは、通勤や通学、買い物、通院などに、利用するさまざまな人々に対して、利用しやすい移動手段を提供することです。その結果、快適に生活できるまち、人が集まりやすいまちが形成されることになります。公共交通づくりは、まちづくりをするために、重要な役割をもっています。

実際に地域で交通を考えるとき、暮らしている地域の課題や現状が分かります。「この

地域に、なぜこの『足』が必要なのか』などを話し合い、地域に合った交通を検討して実行する。動いてみて合わなければ再度検討し、実行してみる。この繰り返しにより、地域の実情に合った『足』となります。そして安心して快適に暮らせるまちを、手に入れることができます。生まれ育つたまちを出て行く子が多い中、この地域に住んでいて良かったと言てくれる子が増えようまちづくりを、目指すことが重要ではないでしょうか。



左：学校に通うために、バスを利用している三郷小学校の児童たち。元気な声がバスの中まで響いていました。右上：明知鉄道を移動手段として、買い物などに利用している乗客。右下：恵那北小学校にある久須見のバス停は、児童や保育園児が楽しく待ち合いできるように、アニメの一場面が描いてあります。この絵は、恵那北小学校の卒業生による卒業記念の作品です。



市内の公共交通を順次再編しています

上矢作地区＝JR恵那駅への直行便を岩村駅止まりとして、明知鉄道との連携を強化します。学生の登校時間の短縮、帰宅時の選択肢を増加。大型商業施設への乗り入れにより、買い物の利便性を向上します。また料金体系の簡素化を行います。

串原地区＝自主運行バス路線に、地域でつくった新規路線（曜日ごとに地域と目的別に分けて運行）を取り入れます。通院に対する利便性の向上を図り、料金体系の簡素化、観光客（くしはら温泉さゆりの湯）への利用を促進します。

山岡地区＝明知鉄道との連携を強化します。買い物や通院、健康プラザの利用に対する利便性を向上します。

岩村地区＝明知鉄道と上矢作線との連携を強化します。通院に対する利便性を向上させるとともに、大型商業施設への乗り入れにより、買い物の利便性を向上します。

路線バスと明知鉄道の乗り継ぎ、大型商業施設への乗り入れ、料金体系の簡素化などを行い、利用目的に合った公共交通を目指すため、10月1日（木）から次の地区で、バス路線を再編し運行します。

再編後の路線図や時刻表、運賃表は、市のホームページ（<http://www.city.ena.lg.jp/>）をご覧いただくなが、商工観光課にお問い合わせください。

10月から実施する再編概要

上矢作地区＝JR恵那駅への直行便を岩村駅止まりとして、明知鉄道との連携を強化します。学生の登校時間の短縮、帰宅時の選択肢を増加。大型商業施設への乗り入れにより、買い物の利便性を向上します。また料金体系の簡素化を行います。

串原地区＝自主運行バス路線に、地域でつくった新規路線（曜日ごとに地域と目的別に分けて運行）を取り入れます。通院に対する利便性の向上を図り、料金体系の簡素化、観光客（くしはら温泉さゆりの湯）への利用を促進します。

山岡地区＝明知鉄道との連携を強化します。買い物や通院、健康プラザの利用に対する利便性を向上します。

岩村地区＝明知鉄道と上矢作線との連携を強化します。通院に対する利便性を向上させるとともに、大型商業施設への乗り入れにより、買い物の利便性を向上します。

明知鉄道でDMVの実証実験走行	
【実施区間】	鉄道の区間は岩村駅から明智駅（約10キロ）で、道路は国道363号などです。
【導入検討の背景】	実証実験走行を実施。今回の走行は、導入した場合の効果検証をして、地域の実情に合った公共交通の実現を目指すものです。
車両購入費や燃料費、査費などの節減が期待	車両購入費や燃料費、査費などの節減が期待
高齢者の通院、買い物などへの利便性の向上が期待	高齢者の通院、買い物などへの利便性の向上が期待
点在する観光資源を結び一体的な周遊観光コースとして誘客などが期待	点在する観光資源を結び一体的な周遊観光コースとして誘客などが期待



明知鉄道で販売しているDMVのおもちゃ

案内

アライグマ・ヌートリアの被害を防ぐ講習会

市は、特定外来生物法に基づき、平成23年3月31日までの防除実施計画を策定しました。今後はアライグマ・ヌートリアの防除に取り組んでいきます。

今回は市民の方を対象にアライグマとヌートリアの防除講習会を開催します。この講習会を受けて、捕獲技術を学んだ方は、捕獲従事者として登録され狩猟免許を持たなくともアライグマ・ヌートリアを捕獲できます。被害でお困りの方は、ぜひ受講してください。

案内

瑞浪青年会議所が行う「写真コンテスト『撮るコン』」の応募写真展と、YOSAKOIソーラン祭りの創始者である長谷川岳氏のトークイベントも開催します。

撮るコン写真展とトークイベント

定額給付金 9月28日(月)が申請の締め切りです
だより 6

定額給付金・子育て応援特別手当の申請期限は9月28日(月)までです。申請を済ませていない方は、早めの手続きをお願いします。

申請期限までに申請書の提出がなかった場合は、給付金を受取ることができません。ご注意ください。

申請方法 申請書に必要事項を記入し、同封の封筒で郵送するか、市役所3階の定額給付金窓口、または各振興事務所へ提出してください。

給付方法 口座振り込みか現金給付(口座のない方のみ)

添付書類 世帯主の方の申請で口座へ振り込みを行う場合=通帳の写し、またはキャッシュカードの写しを添付してください。その他の場合=推進本部まで問い合わせください。

締め切り 9月28日(月)(郵送の場合は当日消印有効)

提出いただいた書類に不備などがある場合は、電話で連絡をしています。

申請書を紛失してしまった場合や、書類を提出したが未支給となっている場合は、こちらまで問い合わせください。

問 定額給付金等対策推進本部(内線550・551)

申・問 〒509-7292
(住所不要)林業振興課(内線527) ㈹26-2861
✉ ringyoushinkou@city.ena.lg.jp

明記し、希望会場、住所を記入の上はがきかファックスまたはメールで申し込む。

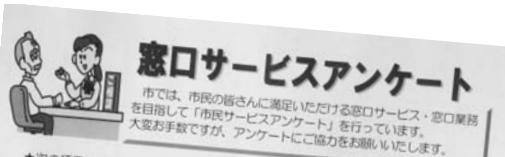
骨髄ドナー登録に協力を

10月は、骨髄バンク推進月間です。白血病など、血液の病気で苦しむ方を救うため、骨髄ドナー登録に協力ください。

問 9月13日(日)午前10時
とき

子育て支援課(内線22)

担当・西尾



市では、市民の皆さんに満足いただける窓口サービス、窓口業務を自らして「窓口サービスアンケート」を行っています。
★次の項目に「□」でお答えください。
○性別 (□男性 □女性)
○年齢 (□10代 □20代 □30代 □40代 □50代 □60代 □70代以上)
★次の項目は「満足」を5点満点として、適当だと思う点数に□印をつけてください。
○職員のあいさつはいかがでしたか?
○職員の対応や説明の仕方はいかがでしたか?
○市役所窓口の開いている時間はいかがですか?
（現在の開院時間8:30～17:15 ※市民課住民係は18:00まで）
○本日の窓口サービスには満足できましたか?
5点 4点 3点 2点 1点
11 2009.9.1

問 9月24日(木)、25日(金)
とき

ひとり親家庭

母

度心身障がい者

重度心身障がい者

子家庭と父子家庭の方

A1・A2・B1、精神障がい者

手帳1級

4級

B1、精神障がい者

療育手帳

28日(月)

市役所会議棟 大会議室 午前9時 午後7時半 南部町の方

午後6時

午前9時 午後7時半 南部町の方

城ヶ丘保育園

11時

遊び室

とき

ところ

内容

指定管理者制度の概要や保育内容について、説明会を行います。来年度から城ヶ丘保育園に入園を希望する乳幼児の保護者は、ぜひご参加ください。

とき 9月15日(火)午前10時

ところ 城ヶ丘保育園2階

内容 入園申込期間 10月1日(木)

要説明、保育内容の説明、申し込み手続き

とき 9月15日(火)午前10時

ところ 城ヶ丘保育園2階

内容 遊戯室

とき 9月15日(火)午前10時

ところ 城ヶ丘保育園2階

内容 入園申込期間 10月1日(木)

要説明、保育内容の説明、申し込み手続き

とき 9月15日(火)午前10時

ところ 城ヶ丘保育園2階

内容 入園申込期間 1



みんなの 掲示板

パソコンサポートクラブ 10月期各種講座のご案内

【はじめてのパソコン講座メール編】

とき 10月2日(金)、8日(木)、27日(火)、28日(水)
午前9時半～11時半(28日は午後1時～3時)

内容 マウス、キーボードの使い方、メールの送受信の基本操作を丁寧に説明します。

受講経費 550円(別途テキスト代900円)

【年賀状講座】

とき 10月1日、8日、22日、29日、11月12日、19日、26日、12月3日(木曜日)午後1時～3時

内容 パソコンで年賀状を、Word 2002とExcel 2002で宛名面(表面)文書面(裏面)を作成します。

対象者 WordとExcelを使用したことのある方(どちらもバージョン2002の方を優先します。定員に満たない場合は、WordとExcelバージョン2007も対応します)

受講経費 2000円(別途テキスト代2500円程度必要。USBフラッシュメモリを880円で購入いただかず、持参してください)

【共通】

ところ 恵那文化センター視聴覚室

定員 18人(先着順)

『みんなの掲示板』は、皆さんが主催するイベントや各種募集などを市内に周知するためのコーナーです。(営利目的・宗教・政治に関する掲載はできません)
掲載の申し込み・問い合わせ 企画課広報広聴係 26-2111(内線314)

申込期間 9月10日(木)午前10時から開講日前日まで。申込時に講座名を言ってください。初めて受講する方は、9月23日(水)までに申し込めば優先されます。その後、再受講者の受講の可否を決定し、9月24日(木)以降に連絡します。

申・問 パソコンサポートクラブ 090-4265-9727 **info@psc.enat.jp**

恵那銀座商店街振興組合 3on3ストリートバスケ大会

とき 9月26日(土)午後5時～9時(雨天決行)

ところ 銀座2丁目駐車場(西銀座通り)

参加費 無料

参加資格 中学生以上(男女問わず)

参加チーム 32チーム(1チーム3～4人)

募集方法 チーム名、キャプテンの氏名、住所、学年、電話番号、チーム全員の氏名を明記して、はがきかホームページから応募してください。

締め切り はがき=19日(水)(必着) インターネット=21日(月)(午前7時まで)

申・問 〒509-7201恵那市大井町251-44伊東聖司 25-2211 ホームページ <http://ena-3on3.enat.jp>



【おわびと訂正】

本紙8月15日号5ページの、地域子育て支援センター9月の予定中、山岡子育て支援センターで14日(月)に行われる腹話術の講師名を小板恵美子さんと記載しましたが、正しくは小板美江子さんの誤りでした。おわびして訂正します。**問** 山岡子育て支援センター 56-2255

同16ページの9月の番組表で、14日(月)から20日(日)放送予定のコミュニティ番組、大正ロマン・こども劇場「二十四の瞳」を、地域自治区活動事例発表会に変更します。おわびして訂正します。**問** 企画課(内線313)

問:問い合わせ **申**:申し込み

グリーンカーテンの普及 促進を

市でも進めているようですが、グリーンカーテンで、エアコンの使用量を減らせたらいいと思いません。市独自の市民講座などで、グリーンカーテンについて講習をして、どこの家の軒先にもグリーンカーテンがあるような街になるとすぎだなと思います。

(市政モニター)



見た目も涼しげなグリーンカーテン

答

本年度から、初めての試みとして「みどりのカーテン事業」を市内の小学校15校、中学校8校で開始しました。この事業は、ニガウリやアサガオなど、植物のつるや葉によってできた自然のカーテンを利用し、屋外で強い日差しを防ぐものです。そして、エアコンなどの使用を抑制する効果を高め、地球の温暖化防止に取り組む活動です。

本年度の取り組みを踏まえ、頂いたご意見も参考にしながら、次年度以降に事業の実施につなげていきます。

(環境課)

入院で寝具を貸し出して

市立病院での、パジャマの貸し出しをお願いします。緊急で入院したときなど、とても困ります。一人暮らしの場合など、パジャマを届けてくれる人もいないと、すべて売店で購うことになると負担になります。洗濯もままならない場合もあります。手術で前開きの物」という場合も、わざわざあればなればなりません。長期入院の場合は、どうしたらいいのでしょうか。

貸しパジャマがあれば、少しで

しかしながら、入院している方や、家族の療養環境の向上を図るためにも、寝具などの貸し出しについて、指定管理者に対応を検討するよう依頼します。

(病院管理課)

中馬街道を整備しては

中馬街道の宿場町で宿場の面影を残しているのは、上村(上矢作町)の本郷です。中馬の「妻籠」になる可能性があります。歴史的な建造物だと思います。残しておけば、きっと市の宝になると思います。調整していただきたい。

(土岐市・宮部木偶さん)

答

市立恵那病院につきましては、指定管理者である(社)地域医療振興協会で運営をしております。ご意見のとおり現在は、寝具などの貸し出しは行っておりません。

答

作

中馬渡周辺に残された古道本郷地内には往時の風情を残す町では、合併前に「漆原作町」の本郷です。中馬の「妻籠」を点在し、市としてもできれば保存、活用につながればと思います。それに、核となる地区の大馬渡周辺に残された古道を整備したい」ということから関心が強くなり、中馬街道を整備しました。確かにご意見のとおり、本郷地内には往時の風情を残す町では、合併前に「漆原作町」の本郷です。中馬の「妻籠」を点在し、市としてもできれば保存、活用につながればと思います。それに、核となる地区の大馬渡周辺に残された古道を整備したい」ということから関

域の皆さんの中ちづくりに対する意識が、もう少し強くなる必要があるとも感じています。その辺りを今後、上矢作町のまちづくり会議の場で語りながら、話を進めています。また、写真展など興味を引く方だけではなく、中馬街道のある周辺地域などにも話をていきます。

(文化課)



本郷地内は街道の面影が点在する

全国と順位を競ったアクアキッズフェス



全国24県49市の小学生が参加した「アクアキッズフェス2009」が、7月29日、山岡B & G海洋センターで行われました。浮き輪をバトンにした「浮き輪でGO」など5種目の結果を入力し、全国での順位を競いました。

てくてくの旅に100人が挑戦



3回目となるてくてくの旅は、クリスタルパーク恵那スケート場を7月31日に出発しました。小学3年生から6年生の約100人は、ゴールのかえでホールまで、約50kmの道のりを2泊3日の行程で歩きました。

長い滑り台に階段を設置しました



明智町の吉田小学校には、県下の小学校で一番長い滑り台があります。7月25日、約18mあるこの滑り台に、同小のPTAで組織する「おやじボランティア」が、間伐材を利用して、手作りの階段を設置しました。

地域自治区が活動事例の発表を行う



7月31日に恵那文化センターで、5つの地域自治区が活動事例を発表しました。住民主体のまちづくりが取り組まれる中、課題解決型の事業を展開している活動状況に、約450人の参加者は熱心に耳を傾けていました。



人とまち
恵那の今を
お届けします

NEWS&
TOPICS

伝統の花火が山岡の夜空を彩る

山岡町久保原地区で、8月16日、爪切地蔵尊奉納花火大会が開催されました。約300年続く伝統技法を使った花火と、現代の花火を織り交ぜています。高度な伝統技術として有名な「送り火・行き別れ」は、三段式のロケット状の花火で、口一貫に直進し、途中で前後に別れます。見事に成功した伝統の花火に、約3千人の観客から、大きな拍手と歓声が上がりました。

募集中

10月に1歳の誕生日を迎えるお子さんの写真を募集します。写真（なるべく一人で胸から上で顔全体が写っているもの）の裏に住所、氏名（ふりがな）、生年月日、性別、電話番号、両親の氏名、30字以内のコメントを添えて、9月15日（火）までにお申し込みください。またケーブルテレビ掲載の可否についてもご記入ください。申し込み多数の場合は先着順により掲載します。

申し込み・問い合わせ
〒509-7292（住所不要）
企画課広報広聴係
④26-2111（内線319）



HAPPY BIRTHDAY
9月生まれのお誕生日
おめでとう！







輝く

恵那人

59

長島町中野
勝野直美さん
77歳

HUMAN WATCH



長島町でボランティア組織を設立 広がる高齢者自立の輪

「自立した高齢者にならんといかんに」と話すのは勝野直美さん。約10年前、「高齢者同士のつながりを持つて、生き生きと暮らしたい」と仲間と共に、市民レベルのボランティア組織「中野ビタミン」を長島町に立ち上げた。この会は、約30人で50代からの女性が中心に活動をしている。

当時は、高齢化社会が大きな話題となり、独居高齢者も身近に増えてきた。「これはひとごとではない」という危機感が根底にあった」と、勝野さんは振り返る。介護保険も無く、行政も対応できない中で、勝野さんは、知人に呼びかけ、手探りの中で始めた。

今は、65歳以上の高齢者を対象に食事会や、いきいきサロンでレクリエーションを行っている。旬の食材を使って栄養バランスを考えた食事会は、高齢者に好評だ。いきいきサロンでは、自分たちで心身の健康管理をしようと、楽しく過ごす以外笑顔は、今日も元気に満ちている。

恵那駅前通りで納涼夏祭り



8月14日、恵那駅前通りをメイン会場に、恵那納涼夏祭りと盆踊りの夕べが開催されました。参加した子どもたちや住民らは、やぐらの屋形船「恵那丸」の周りで盆踊りを楽しみました。

田んぼの周りに何がいるかな



県恵那農林事務所は、水田周辺に住む生物の実態把握を目的に、8月19日、飯地町で田んぼの生きもの調査を行いました。参加した地元の子どもと保護者約20人は、カワムツ、ドジョウ、カワニナなどを確認しました。

花火の競演、恵那峡の湖面を彩る



恵那峡さざなみ公園で、8月22日、第38回恵那納涼水上花火大会が行われ、約4万人の見物客が訪れました。恵那峡の湖面に花開く、水上花火と打ち上げ花火の競演など約2千発の花火が、夜空と湖面を彩りました。

入間川部屋のちゃんこ鍋に舌鼓



明智町出身の恵那司が入門している入間川部屋の力士たちが、8月1日、明智町文化センターで、ご自慢のちゃんこ鍋を振る舞いました。お客様は「野菜も柔らかくておいしい。もっと食べたい」と満足そうでした。

公募出演者が「二十四の瞳」で熱演



大正ロマン・こども劇場「二十四の瞳」が、8月15日と16日、市内で上演されました。公募による小学生から一般の出演者43人は、数ヶ月の練習の成果を出し切って熱演し、約1,500人の観客に涙と感動を与えました。

東濃牧場で畜産フェアが開催される



8月22日に第20回県畜産フェアが、東濃牧場で開催されました。体験コーナーでは、子どもたちが乳牛の乳しぼりを行いました。大きな牛の近くでの作業に、緊張した面持ちで、普段できない体験をしていました。



もてなしの心で語る わが街

えな自慢

えな自慢

7

岩村城跡



当時の岩村城をしのばせる石垣

ひと口メモ

日本三大山城には、岩村城のほかに、大和の高取城（奈良県）、備中の松山城（岡山県）がある。また、岩村町ではこの霧ヶ城を再建しようと、住民らにより再建構想実行委員会が組織され、再現事業などが行われている。

近世の山城のうち、全国で最も高い標高 717 メートルに築城されたことで「日本三大山城」の一つに数えられる。（財）日本城郭協会の「日本 100 名城」にも選定。高低差 180 メートルの険しい地形を巧みに利用した要害堅固な山城で、霧が多いこの地方特有の気象までもが城造りに生かされたとされ、別名「霧ヶ城」とも呼ばれる。その創建については、源頼朝の重臣加藤景廉が 1185（文治元）年に築いたと伝えられる。美濃と信濃を結ぶ交通の要衝にあり、戦国時代には織田と武田の争奪戦の舞台となった。城を守った数々の城主の中には、政略結婚の道を選びながらも、家臣や領民を守った心優しい「女城主」の存在もあったとされる。現存する壮大な石垣は、関ヶ原合戦後に入封した大給松平氏によるもの。現在、市では岩村城跡の保存と整備に向けた構想を検討しており、今後城下町と城跡を生かしたまちづくりが進められる。

えな自慢

8

えな祭

ENAみのじのみのり祭

毎年 10 万人以上を集客



名物の焼きマツタケでにぎわう

ひと口メモ

以前の催しは皇女和宮の行列を再現したもののがメインの「恵那ふるさと祭り」が開催されていたが、恵那の祭りとして定着するにはいま一歩だった。恵那の知名度を高めることで、郷土に誇りを持つ人が増えることを願って再構築されたのがこの祭り。

1989（平成元）年から始まった新しい祭りで、毎年 9 月の第 4 土曜、日曜日に開催される市内最大のイベント。延べ 200 メートルの U 字溝の炭火で焼く焼きマツタケ、市内 13 力町に伝わる伝統料理や地元で採れる山菜、野菜などをを使った料理を一堂に集め、販売や試食が楽しめるふるさとまちじまんコーナーが中心的行事。また、自治会や企業、友人グループなどが作って担ぐユニークな創作御輿が祭の夜を盛り上げる。さらに、市街地を練り歩くおみこし競演など、さまざまなイベントが盛りだくさん。

毎年市内外から 10 万人を超える多くの人が訪れる。



祭りの素晴らしさを宣伝し、盛り上げる、みのじ宣隊 ENA レンジャー

次号は 9 月 15 日号

発行日は 9 月 15 日(火)です

広報えな No.112

2009年(平成21年)

9月1日発行

発行 恵那市役所 / 編集 企画課広報広聴係

岐阜県恵那市長島町正家一丁目 1 番地 1 電話 052-26-2111 / FAX 052-6150

<http://www.city.ena.lg.jp/> info@city.ena.lg.jp

『広報えな』9月1日号、
1部当たりの印刷経費は
約 11.6 円(税込み)です。



恵那市安心安全メール配信システム

登録用 QR コード

問い合わせ 防災対策課 (内線 317)

『広報えな』は環境に優しい再生紙を使用しています。



この印刷物は石油系インキではなく、大豆油を使用してインキで印刷されています。